

第8回草津市総合計画審議会 会議録

■日時：

令和2年9月1日（火） 14時00分～16時00分

◆場所：

草津市役所8階 大会議室

■出席委員：

赤星委員、安里委員、井上委員、上野委員、角谷委員、北村委員、喜田委員、久保委員、肥塚委員、清水委員、塚口委員、中嶋委員、中島委員、中村委員、三浦委員、南委員、宮城委員、森田委員、谷地田委員、山口委員

■欠席委員：

小寺委員、田中(進)委員、田中(里沙)委員、土山委員、馬場委員、宮下委員、森本委員、山下委員

■事務局：

総合政策部	田中部長、松下理事(公社担当)兼危機管理監、堀田理事(草津未来研究所・経営戦略担当)、金森副部長、柴田副部長(男女共同参画担当)、古川副部長(人権政策担当)
総務部	黒川副部長
まちづくり協働部	岡田副部長
環境経済部	田中副部長、高岡副部長(資源循環担当)
健康福祉部	田中副部長
子ども未来部	河合副部長
都市計画部	松尾副部長
建設部	生田副部長
上下水道部	奥山副部長
教育委員会事務局	南川副部長、作田副部長(学校教育担当)
企画調整課	小川課長、宇野課長補佐、村上副係長、力石主査、山田主査

傍聴者：

なし

1. 開会

- 開会にあたって、田中総合政策部長より挨拶

- 事務局

草津市総合計画審議会設置条例施行規則第5条第2項に基づき、委員の半数以上の出席という要件を満たしており審議会が成立していることを報告。

委嘱替があった委員の紹介。

2. 審議

(1) 第1期基本計画、リーディング・プロジェクトについて

●事務局

<資料1について説明>

●委員

P3の「(5) 行財政マネジメントについて」のところに「職員力の向上」とあるが、どのような内容なのか。

●事務局

具体的には、P174の「職員力の向上」に記載しているが、職員一人ひとりが職務の遂行に必要な能力を高めるとともに、それぞれの職階・職制ごとの役割を果たすことで組織力を最大限に発揮し、市民福祉の向上につなげていくものである。

●委員

P7に「分野横断的な施策転換を図っていく」とあるが、どのような内容を想定しているのか。また、具体的には、どのように進めていくのか。

●事務局

今後、課題が多様化・複雑化していく中で、将来ビジョンの実現に向けて、23の分野に横ぐしをさして、進めていくものであり、次回の審議会では、体系図として、各リーディング・プロジェクトに関連する分野をお示ししたいと考えている。また、リーディング・プロジェクトについては、予算編成方針等に一貫した方向性を持たせるなど、市として戦略的に推進していくものである。

●委員

リーディング・プロジェクトに関連する分野を関連図などがあると分かりやすいのではないか。

●事務局

各リーディング・プロジェクトに関連する分野については、次回の審議会では体系図としてお示ししたいと考えている。

●委員

きれいな言葉が並んでいるが、文章よりも箇条書きの方が分かりやすいと思うが、もっと読み手にやさしくしたほうがよいのではないか。また、アフターコロナの視点で、市として、IT関係の取組などを進めていこうという姿勢が感じられない。

●事務局

今回の文章では、各リーディング・プロジェクトの必要性や内容が分かるように、前段で課題、後段で取組の方向性をお示しした。最終の製本段階では、見やすさについて工夫しながら調整する。また、新型コロナウイルスの内容については、「暮らしの安全・安心向上プロジェクト」に記載しているが、P3の「(5) 行財政マネジメントについて」に

全体にかかわる概要を記載している。

●委員

レイアウトのデザインではなく、箇条書きにすることで分かりやすくなるのではないかと思うがいかがか。リーディング・プロジェクトの中では、記載しないということによいか。

●事務局

計画書にするため、ある程度の文章の量が必要にはなるが、概要版の作成など計画書の内容が分かりやすくなるよう検討する。

●委員

文章とあわせて、図やイラストなどを示した方が分かりやすいと思う。

●事務局

最終の印刷製本段階では、図やイラストを記載することを検討している。次回、体系図などもお示しするので、再度、御確認いただき、お気づきの点があれば、御意見をいただきたい。

●委員

リーディングの「暮らしの安全・安心向上プロジェクト」について、新型コロナウイルスの内容をもっと記載してはどうか。また、「強さ」と「しなやかさ」については、ハードとソフトを表しているということによいか。

●事務局

御意見を踏まえ、感染症の世界的大流行の記載について、検討する。また、「強さ」と「しなやかさ」については、災害や事故などにより致命的な被害を負わない強さと速やかに回復するしなやかさを表しており、ハードとソフトを組み合わせたものである。

●会長

各委員からの意見を踏まえ、それぞれの記載内容等を検討いただきたい。また、「地域の力結集プロジェクト」は、タイトルから内容が分かりにくいと思うので、タイトルなどを再検討いただきたい。

審議（２）分野別の施策について

●事務局

<資料1について説明>

●委員

R16の「私たちの役割（行政）」について、「同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の早期解決を図ります。」とあるが、「あらゆる人権問題の早期解決を図ります。」にしてもよいのではないか。

●事務局

生まれた土地による差別が、過去からも、そして現在も続いており、正しく差別の現状を学習いただくことによって、差別をなくしていきたいという思いで、「同和問題をはじめとする」と記載している。

●委員

P 6 0の「私たちの役割（行政）」について、「健康推進員を増やします。」とあるが、「養成講座を受けた上で、健康推進員になっている」ことが分かるような記載をしてほしい。

●事務局

御意見を踏まえ、記載を検討する。

●委員

P 1 1 0、P 1 1 1について、最近では、プラスチックごみを減らすために買い物袋が有料化したことや、海洋プラスチックごみの問題、家庭ごみの削減、食品ロスなどを聞くことが多いが、琵琶湖の環境をよくするためにも、ごみを減らしましょうだけでなく、もう少し踏み込んだ表現ができるとういとお考える。

●事務局

現在、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定中であり、その計画の審議会の中でも御意見の内容を議論したいと考えているが、御意見の趣旨を踏まえ、表現について検討する。

●委員

「私たちの役割（市民）」について、全体を通して、言い切りの形になっているが、市民に求めるのであれば、もう少し書き方を変えてはどうか。

●事務局

総合計画は、行政だけでなく、市民などのあらゆるまちづくりの主体の計画であるため、このような記載としている。

●委員

P 1 7 7施策①に「先端技術を活用した」とあるが、ITに関する記載がここにしかなく、業務改善だけにITを使うように捉えられる。今後の社会において、何においてもITが関わってくるため、全体的にITを意識した記載ができないか。

●事務局

御意見のとおり、今後、IT、デジタル化が進んでいくものと考えており、基本目標「未来への責任」では、今後、次世代に負担を先送りすることのないように、市民から信頼される市政運営を行うための1つとして、行政改革を位置付けている。今後、行政改革を進めていく中で、先端技術のRPA等の活用は必須となるため、このような記載をしている。

●会長

ITやICTなどの記載について、「22-1 まちづくり情報の提供の充実」などに記載があってもよいと思うので、検討いただきたい。

●委員

指標の満足度について、基本方針の名称の満足度となっているが、名称だけでは、分かりにくい印象を受ける。また、満足度だけではなく、客観的な指標があってもよいと思う。

●事務局

各基本方針の満足度については、市民意識調査を実施する際には、分かりやすいように具体的な取組を例示している。また、客観的な指標については、特別委員会においても、同じ御意見をいただいたところであり、市民満足度のほかに、基本方針の進捗を図るうえでより適切な指標がないかを検討する。

●委員

分野「防災」について、コロナ禍にあって、避難所での感染症対策がクローズアップされているが、災害時の避難所運営においては、感染症対策がとても重要になるので、追記いただきたい。

●事務局

記載について検討する。

●委員

P45の主要事業に「(仮称)市民総合交流センター整備事業」とあるが、最終の計画書でも名称は(仮称)のままなのか。

●事務局

最終的には、(仮称)を外し、正式な名称とさせていただく。

●委員

P55の主要事業「社会福祉協議会活動補助事業」に(福)の記載は必要ないのか。また、市民の役割(市民・地域)に「地域で支える支援者」に登録します」とあるが、どこに登録するかを分かるように記載すべきではないか。

●事務局

御意見を踏まえ、記載を検討する。

●委員

P67の施策「総合相談窓口の充実」とあるが、P57の施策は「福祉の相談総合窓口」とあるので、名称を整理する必要があるのではないか。

●事務局

御意見を踏まえ、記載を検討する。

●委員

「基本方針10-2 あんしんできる高齢期の生活への支援」の「主要事業」の「権利擁護事業」と「基本方針11-1 共に生きる社会の推進」の「主要事業」の「成年後見制度利用支援事業」について、どちらも重要なものになるが、ひとつずつしか入っていないので、同じ扱いにできないか。

●事務局

御意見を踏まえ、記載を検討する。

●委員

若い世代をはじめ、様々な世代に読んでもらえるような計画書にしてほしいので、用語集などを作成してはどうか。

●事務局

最終的には、用語集を作成させていただく。

●委員

P169のところに「未来への責任」とあるが、未来ではなく、今どうするかが重要なので、「市民への責任」に変更してはどうか。

●事務局

未来に向けて、次世代に負担を先送りすることのないように、今できることに責任をもって取り組んでいくことを表しており、原案のとおりとさせていただく。

●委員

「商工観光」の分野において、事業者への新型コロナウイルス対策の記載をしてはどうか。

●事務局

P140の「19-2 商業の振興」につきましては、新型コロナウイルス対策等を含めた中での商業振興の方針、施策を記載させていただいている。

●委員

総合計画を若い世代に読んで分かってもらうために、関連する市のホームページのQRコードを記載するなど、工夫してみてもどうか。

●事務局

製本の段階では、市民の方が読みやすくなるように工夫したいと考えており、例えば、余白に写真やイラストを記載するなど、御意見も含め、検討させていただく。

●委員

(仮称)市民総合交流センターの中に「男女共同参画センター」が設置される予定となっているが、P20、P21のところに記載しないのか。

●事務局

御意見を踏まえ、「男女共同参画センター」に関する記載を検討する。

●委員

P 2 5 の「豊かな心と健やかな体の育成」のところで、子どもの体力向上と健全な心身の醸成を目的として、中学校給食の実施に向けた取組を進めるとあるが、これはどのような考え方か。

●事務局

子どもの体力向上と健全な心身の醸成を図るための1つ要素として、給食も含まれると考えているが、ここでは、第1期基本計画の計画期間中に、中学校給食センター整備の取組を進めていくことから、このような記載とさせていただいている。

●委員

P 1 3 9 の主要事業「中心市街地活性化推進事業（商工費）」と P 1 5 3 の主要事業「中心市街地活性化推進事業（土木費）」はどのような違いがあるのか。

●事務局

基本的には、どちらも中心市街地活性化に向けた取組を進めるものであるが、「中心市街地活性化推進事業（土木費）」は、中心市街地活性化基本計画の策定業務やフォローアップ業務など中心市街地にかかる組織や基盤整備にかかる事業費であり、予算上の違いがある。

●委員

P 2 0 の行政の役割に「女性の総合相談を行うことで、DVなどさまざまな困難を抱える女性を支援します。」とあるが、男性のDVに関する記載はしないのか。

●事務局

男性のDVの相談も受けているため、御意見を踏まえ、表現を検討する。

●委員

P 1 2 1 の施策「広域主要幹線道路等の整備促進」は、しっかりと取り組んでいただきたい。また、「幹線道路の整備」では、「都市計画道路大江霊仙寺線の整備に努めます。」とあるが、ネットワークを充実させるなどの表現を検討してはどうか。

●事務局

「広域主要幹線道路等の整備促進」は、しっかりと取り組んでまいります。また、「幹線道路の整備」の都市計画道路大江霊仙寺線の記載は、御意見を踏まえ、表現を検討します。

●会長

分野の別施策の並びに、「行財政マネジメント」が位置付けられているのに違和感がある。「行財政マネジメント」は、市としての取組に関することがまとめられた項目であり、他の分野とは、内容が異なるので、位置付けについて、再検討いただきたい。

審議（3）地方創生について

- 事務局

<資料2について説明>

3. 閉会

- 事務局

次回の審議会は11月18日（水）14時から開催予定。

- 閉会にあたって、金森総合政策副部長より挨拶